

# 沼高 P T A 会報

岩手県立沼宮内高等学校 P T A 事務局

〒028-4398 岩手県岩手郡岩手町大字五日市10-4 ☎0195-62-2388(職)・62-2334(事) FAX 0195-62-3203  
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/nkn-h/> 印刷 河北印刷株式会社

厳しい寒さのなかにも春の訪れを感じられるようになってまいりました。皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

会長職を任命され1年が過ぎ去ろうとしています。今年度は、沼宮内高校創立七十周年の節目の年でもありました。記念行事も滞りなく終えることが出来ました。これも校長先生はじめ諸先生方の温かいご指導と、実行委員会の皆様、P T A 会員の皆様のご協力とお力添えのおかげです。ありがとうございます。

P T A として26年ぶりに母校の活動に携わり気付いたことがあります。それは、たくさんの生徒たちがボランティア活動や様々な研修に参加しているということですね。少人数だからこそできる活動を増やそうとしている先生方の思いが伝わってきます。生徒たちを見ていても、部活動だけではなく勉強も一生懸命に取り組んでいる印象があります。

三年生の皆さんは春には新たな道へと進んでいきます。在校生の皆さんもいずれは、自らの道へ進む時が来ます。就職され



お互いに  
敬意の念をもって

P T A 会長

小澤 啓一

る方、進学される方、道はそれぞれ違います。コンピュータと A I の台頭に伴い、私たちは今まで経験したことのない新しい時代に直面し、その力が問われています。例えば、スマートフォンは生活必需品となっておりますが、それに日常を奪われるのではなく、それを使って生活を豊かにするのだという意識を持ち、行動する力です。

新たな環境は、新たな人間関係をもちます。相手とのコミュニケーションの取り方に悩むことも増えていきます。そんなときに大切にしたいこと、自分の心と向き合う時間です。「自分が普段どんな考えを持ち、どのように感じているのか」そして「何をしたいのか」じっくり考えてみて下さい。また、自分に対しても愛情を持って接して下さい。そして相手に敬意を払って下さい。将来に向かって必要なことをたくさん求め掴んで下さい。与えられたものは有限ですが、自分で求めるものは無限です。決心がつけば何でもできることを忘れないでください。沼高生の皆さんの未来に

## トピック

### ◎沼宮内高等学校創立70周年記念行事(10/20)

- ① 記念式典 生徒代表の言葉 (3年畑山知加)
- ② 講演会 田中政光氏  
(昭和40年度卒業生 現在長崎県立大学経営学部特任教授)
- ③ 祝賀会 ブラザあい

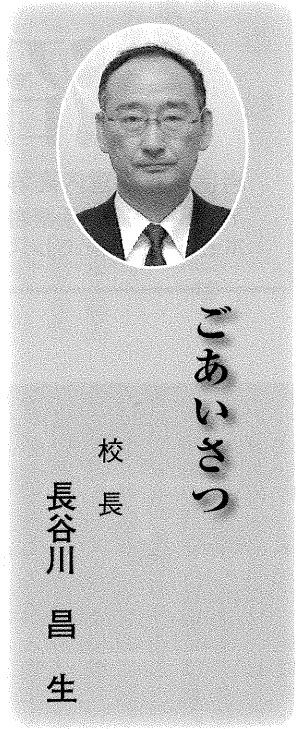


### ◎第50回全国高等学校 選抜ホッケー大会 ベスト8



大いに期待しております。最後にありますが、子供たちが日々経験を積みながら成長していく姿を安心してみていられ

るのも、校長先生はじめ教職員の皆様のご指導があればこそである P T A を代表し心より感謝申し上げます。



ごあいさつ

校長

長谷川 昌生

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、様々な形で御支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。お陰様をもちまして平成30年度も卒業式を迎えるところまで参りました。3年の高校生活の間、お子様を見守りながら学校生活を支えてこられた卒業生の保護者の皆様のお喜びと安堵のお気持ちを御拝察申し上げます。誠にありがとうございます。

今年度は、6月4日の総会で小澤啓一会長、田中由香理・岩館こずえ・柴田亜矢子副会長が承認されました。また、昨年まで2年間会長を務められた滝口純子前会長に顧問として本校PTAに御助言を頂くことが了承されました。以上の皆様を始め、保護者の方々の御協力のもとでの大変に充実した活動で本校を支えていただきました。主な事業としては、年2回の登校時一声運動、5月の県北地区教育協議会、6月の県高P連総会やPTA交流旅行、体育祭での「おふるまい」、10月の沼高祭でのバザーや食堂開設等がありま

した。さらには11月の県北地区合同母親委員会では主管校として研修会を開催していただくなど、数多くの場面で多大な御協力を頂きました。併せて今年度は、本校の創立70周年の節目の年にあたり、10月20日に記念式典・記念講演会・祝賀会を開催しましたが、役員の皆様を中心に当日はもろんのこと準備段階から関わっていただき御協力頂きました。あらためて感謝申し上げます。

平成30年度は新入生37名を迎え、全校生徒105名でスタートしました。生徒は勉学に励みながら、部活動や生徒会活動、ボランティア活動等様々な分野で活躍し充実した学校生活を送っております。部活動においては、男子ホッケー部がインターハイと全国選抜大会に出場し、福井国体では若手県選抜チームとして奮闘しました。上位入賞こそ果たせませんでした。上位入賞まであきらめない姿勢を見せてくれました。女子は、残念ながら単独チームとしての全国大会出場はありませんでしたが6月の東北選手権では優勝を勝ち取

り、強豪校としての矜持をしめしてくれました。卓球部、サッカー部、ソフトテニス部は少ない部員数ながら日頃の練習で技量を高め、県大会や各種大会で健闘しました。将棋部は外部コーチの熱心な指導により、個々の棋力を高めて県大会でも活躍しております。茶道部、造形芸術部(美術・書道)、吹奏楽・音楽部は、沼高祭でのお点前や作品展示、バイオリン体験講習、石神の丘でのミニコンサートを開催し、地域の方々との交流を積極的に行っています。

本校を取り巻く環境は、少子化による中学校卒業生の減少や盛岡地区への進学者の増加など大変厳しい状況にあります。岩手町を始めとする地域の皆様からは多大な御支援をいただいております。今年度は、給食(副食提供)、新入生への制服等購入補助、国公立大学入学者への入学金相当額の給付、列車通学補助等の新規事業を実施することができました。今後とも保護者や地域の皆様の御理解をいただきながら「一人ひとりの生徒が主役としていきいきと生活する学校」をめざしてまいります。

卒業にあたって

3学年主任  
秋田 美紀男

卒業おめでとうございます。月日が経過するのは早いものです。あつという間の3年間でした。保護者の皆様におかれま

ても多大なる御理解と御協力をいただきました。誠にありがとうございます。3年間を行事を中心に振り返りたいと思います。

平成28年度入学生は平成28年4月7日(休)午前10:00、本校第一体育館にて入学式を迎えました。大巻美涼さんが新入生代表の宣誓を行い、清潔・強靱・寛容の校訓を胸に刻みました。対面式では田村圭梧君が新入生代表挨拶を行い、真の沼高生になるための応援歌練習も始まりました。1年次の最初は中学から

高校への転換が重要な時期であり、課題の全員提出や清掃の徹底に努めました。ほぼ全員順調に中学生から高校生への変換を成し遂げました。6月の上級学校見学では若手県立大学と盛岡大学へ行きました。颯爽と歩く大学生の姿を見て、感銘を受けた人もいたと思います。そして五校連合による最後の野球応援も体験しました。夏休みになると最初に課外授業があります。この学年は全員一丸で何事にも取り組むことをモットーとし、以後の課外授業についても全員で臨む体制となりました。10月には地元岩手町で国体ホッケー競技が開催され全校生徒が大会運営に駆り出されました。また、企業見学会もあり、都南川目のトンネル工事現場と盛岡セ

イコー工業株式会社を訪問しました。トンネル工事の発破作業やマイスターと呼ばれる時計職人について学びました。また、

山下佳子先生による「NIE」と「防災スクールいわて」も始まり、DIGやHUGなど外部の先生方による授業も多く行われました。冬休みになると課外授業と高大連携ウインターセッションがあり、他校生と交流をしながら熱心に取り組みました。部活動にもみな熱心に取り組み、ホッケー部を中心に成果をあげました。もうこの時期になると、高校生活に慣れ、次のステップへ進む段階になったと思います。

2年生になると中堅学年として動き出しました。部活動や生徒会活動においては中心的な役割を果たすようになり、将来のリーダーとしての資質を身に付けることが重要とされる時期になります。部活動では、ホッケー男子が国体で優勝し、女子が5位入賞したことが話題となりました。他の部活動でも県大会で1勝、2勝を上げるなどの躍進もありました。畑山知加さんが生徒会長となり、各種ボランティア活動も精力的に行われました。8月にはインターンシップが行われ、町内の11の事業所に2日間お世話になりました。事前の段階では不安もありましたが、インターンシップ終了後はみな一回り大人になったような気がします。沼高祭では例年2年生はインターンシップレポート展示とお化け屋敷を行っていましたが、今回は学年が少人数ということで、主に男子は焼き鳥、主に女子はInstagram

が主役としていきいきと生活する学校」をめざしてまいります。



用のフォトスタジオを行いました。焼き鳥は石田和秀先生が中心となり、炭火で提供しました。フォトスタジオはインスタ映えするような装飾品をたくさん作り、今思えばとてもクリエティブな内容だったと思います。後夜祭では玉木愛夢輝君や山本颯馬君の奇抜で軽快なトークも記憶に残ります。そして、12月に4泊5日の修学旅行へ出かけました。京都駅前のはらしい旅館へ宿泊し、学年全員で市営バスや地下鉄に乗り移り移動するという貴重な体験もありました。USJはもちろんですが、最終日に「よしもと新梅田劇場」で漫才の鑑賞ができたこともいい思い出となりました。

この修学旅行を機に、進学や就職への進路に関する意識が高まる時期となり、ウインターセツションや冬季課外へ意欲的に取り組みました。3年生になり、最後の県高総体、体育祭が終わると一気に進路の準備で忙しくなります。7月には山下先生のNIE全国大会の研究授業もあり、3学年全員が参加しました。夏休みは進学と就職に分かれた課外授業となりました。就職では、企業見学、履歴書作成と面接練習が主たる内容であり、暑い中みな順調に進めたと思います。進学でもAOや推薦入試のための志望理由書作成や小論文、面接練習が始まりました。こちらもみな粘り強く、いざと言う時はもの凄い集中力を発揮する学年だと再認識しました。

10月には創立70周年記念式典が行われました。また、最後の沼高祭では5つの班に分かれて模擬店を行いました。どの班も工夫をこらしたメニューを考案し、売り上げは好調でした。冬休みになると進学課外があり、センター試験受験者5名のみを課外を8日間行いましたが、みな意欲的に取り組みました。全員全科目受験の日程で1月19日(土)20日(日)の2日間岩手大学で受験しました。翌日の自己採点までみなよく頑張ったと思います。センター試験は進路に使う、使わないの問題ではなく、受験すること自体が自分の財産になるからです。

3年間をざっと振り返りました。記載した内容はほんの一部に過ぎず、3年間の高校生活の中ではその他もたくさんあることを経験したと思います。これらを通じて、3年生は清潔、強靱、寛容の真の意味を理解したと思います。私はこの学年には常に良い流れがあったと考えています。それはそれぞれに個性がありながらも、一斉にやるべき事は一斉に取り組むという高い人間力を備えている生徒が集まっていたからです。平成最後の卒業生26名は明日へ向かって力強く一歩を踏みだし、将来は人をまとめるようなリーダーになって欲しいと願っています。

＊進路指導部から＊

三年生の皆さん、御卒業おめでとうございます。進路実現に向けて一所懸命に学業に励み、小論文対策と面接練習に取り組み、合格・内定を得ることが出来ました。また、保護者の皆様には、日頃から本校の進路指導に関して御理解、御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、ハローワーク盛岡の統計によりますと、平成三十年十一月末時点での管内求人数は昨年同期より二十人増の一八七二人となりました。全体でも六三九五五人となり、過去十年間で最高となりました。平成二二年度の県内の求人が一七〇六人でしたので、三・七倍強になります。県内全体の就職内定率は十一月末現在で九三・四％となり、昨年より一・二ポイントの上昇になりました。これは岩手労働局が調査を平成八年から開始して最高の水準になりました。この数字だけ見れば就職状況はとても良好ですが、心配は無いように思われますが、岩手県の生徒が就職してから三年以内離職率が四十％位と依然として高い状態にあります。まだまだミスマッチが多いのが解消されていません。

就職試験では筆記試験の点数も大事ですが、面接を重要視する企業が多いように感じられます。面接での感触が良いと内定消されていません。

就職試験では筆記試験の点数も大事ですが、面接を重要視する企業が多いように感じられます。面接での感触が良いと内定消されていません。

がもたれる傾向が強く、コミュニケーション能力を問われている状況がはっきりと見られました。人口減少による労働力不足により高校生を採用する企業が更に増加したので、生徒たちには正確な情報を伝えていきます。

上級学校への進学率は四六・二％となりました。早期からの進路計画が必要ですので、担任又は進路の先生に相談してください。本校では推薦・AOによる進学者が多数ですが、学力を身につけるために課外授業を実施しています。また、岩手町からの多大な支援により学習活動への補助が増え環境が整い、進路実現に向けて全力で取り組んでいきます。



平成 30 年度 進路状況

項目	卒業者数	進学合格者数						就職内定者数				
		合計	大学		短大	医療系短大 専門学校	専門学校等	合計	管内	県内	県外	公務員
			国公立	私立								
男	17	9	0	2	0	0	7	8	8	0	0	0
女	9	3	1	0	0	0	2	6	5	0	0	1
計	26	12	1	2	0	0	9	14	13	0	0	1

H30.12.11~20実施、回答100名97.1% (昨年度102名 96.2%)

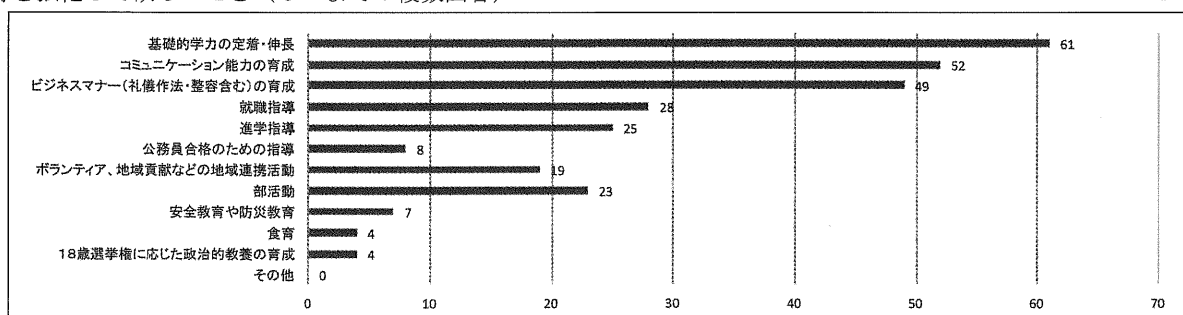
## 平成30年度 保護者による学校評価

評価基準	「そう思う」と「ややそう思う」の合計			
	80%以上	A	65%以上	B
	45%以上	C	45%未満	D

質問項目 (回答:A=そう思う、B=ややそう思う、C=あまり思わない、D=思わない)	今年度の評価				昨年度の評価 (%)					
	総合評価	A	B	C	D	総合評価	A	B	C	D
1 経営方針はわかりやすく説明されている。	A	27	62	9	2	A	22	63	16	0
2 「特色ある学校づくり」に努めている。	B	27	52	20	1	A	16	64	20	1
3 「開かれた学校づくり」を推進し、地域のために役立っている。	A	28	60	11	1	B	20	54	25	1
4 P T A 会報等の保護者あて発行物の内容は適切である。	A	32	58	10	0	A	28	61	11	0
5 本校と家庭との連携は十分に図られている。	A	29	58	12	1	A	29	54	16	1
6 教員の保護者への対応の仕方、接し方は適切である。	A	42	53	4	1	A	38	54	8	0
7 学校行事はバランス良く編成されている。	A	35	62	3	0	A	27	60	12	1
8 学習の環境が整っている。	A	31	60	8	1	A	25	62	11	2
9 生徒は高校生らしい服装をし、挨拶やマナーが良い。	A	37	61	2	0	A	31	62	7	0
10 いじめや暴力等のない学校づくりに努めている。	A	33	57	9	1	A	34	53	13	0
11 本校は遅刻・欠席・早退をしないような指導がされている。	A	35	58	6	1	A	36	60	3	1
12 生徒が必要とする進路に関わる情報を十分に提供している。	A	35	58	6	1	A	38	56	6	0
13 個別面談がよくなされ生徒の相談にのっている。	A	37	56	6	1	A	40	51	8	1
14 教員は生徒に対して配慮ある態度や言動を心がけている。	A	45	45	9	1	A	34	57	8	1
15 教員の生徒に対する学習評価は適切である。	A	35	63	2	0	A	34	59	7	0
16 部活動は適度に (内容、休み、費用等) 実施されている。	A	43	50	5	2	A	39	50	11	1
17 学校徴収金の金額は適切である。	A	46	48	5	1	A	47	48	5	1
18 入学させて良かったと感じている。	A	56	39	4	1	A	52	44	3	1

指導を強化して欲しいこと (3つまでの複数回答)

(実数)



学校への意見や要望 (自由記述)

1年	中学校でやってきた部活が高校でも出来ればもっと生徒が増えると思います。
2年	先生間での生徒の様子を共有していただきたいです。
3年	岩手町だけでなく、一戸方面、盛岡方面の子供達の入学の斡旋を考えるべきです。沼高でも、こんなに資格が取れるということ、国公立大学、公務員になっている事実をもっとアピールして、入学者の増加を期待します。私達保護者は、沼高に入学させて本当に良かったと思っています。
3年	岩手町にゴルフ場があるのだから、ゴルフ部を作っても良いのでは？ ゴルフ授業も1年生からでも良いのでは？

### 【保護者の皆様へ】

「平成30年度 保護者による学校評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。集計結果につきましては、ご覧のとおりとなりました。今後ともPTAの活動にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。不明な点は、本校の副校長にお問い合わせください。

【お知らせ】平成31年度も今年度大幅に増額された岩手町からの沼宮内高校教育振興会への補助金が継続されます。以下、事業の概要を示します。

- 1 部活動強化 ホッケー部の全国大会出場・県外遠征補助、部活動助成
- 2 学習支援 (1)活性化事業 (2)学力向上対策、進路指導充実 (3)各種検定受験奨励 (4)四年制国公立大学進学者入学金相当額補助
- 3 沼高生活応援 (1)入学時の制服代等補助 (1人3万円) (2)生徒の対外活動費補助 (3)町外列車通学支援 (通学定期の3割補助)
- 4 副食提供 町給食センターで調理されたおかずを希望者に提供 1食あたり195円のうち、95円を補助 (金額は予定)

部活動の記録

ホッケー

平成30年度全国高等学校総合  
体育大会ホッケー競技大会  
男子81回女子60回全国高等学  
校ホッケー選手権大会

【男子】

1回戦

沼宮内 2-1 箕島(和歌山)

2回戦

沼宮内 2-2

S0(2-3) 置賜農業(山形)



平成30年度国民体育大会ホッ  
ケー競技東北ブロック予選会  
兼第45回東北総合体育大会

【男子】

準決勝 岩手 6-2 山形

決勝 岩手 8-0 福島

※優勝 国体出場権獲得

【女子】

準決勝 岩手 14-0 青森

決勝 岩手 4-1 山形

※優勝 国体出場権獲得

第73回国民体育大会ホッケー  
競技

【男子】

準々決勝 岩手 1-4 富山

※第5位

【女子】

1回戦 岩手 12-0 北海道

準々決勝 岩手 0-3 富山

※第5位

平成30年度東北高等学校選抜  
ホッケー大会

【男子】

準決勝 沼宮内 15-0 米沢興譲館(山形)

決勝 沼宮内 5-2 置賜農業(山形)

※優勝 全国選抜出場権獲得



【女子】

準決勝

沼宮内 2-3 不来方(岩手)

3位決定戦

沼宮内 4-2 築館(宮城)

第50回全国高等学校選抜ホッ  
ケー大会

【男子】

2回戦

沼宮内 3-2 立命館(京都)

準々決勝 沼宮内 1-5 横田(鳥根)

沼宮内 0-9 盛岡三

サッカー

高宮宮杯 U-18 2018

i League 盛岡DⅢ(リーグ戦)

第8節

沼宮内 1-4 岩手高

第9節

沼宮内 0-9 盛岡三



第10節

沼宮内 0-2 盛岡南

第11節

沼宮内 1-7 盛岡四

第12節

沼宮内 0-6 盛岡農

第13節

沼宮内 1-6 盛岡附属

第14節

沼宮内 2-9 平館

※最終結果 8/8位

ソフトテニス

第63回岩手県高等学校新人大会  
ソフトテニス競技二戸地区予選

《個人戦》 通過数6組

予選リーグ

田村・大欠 2-④

上平・齋藤(二戸)

田村・大欠 ④-3

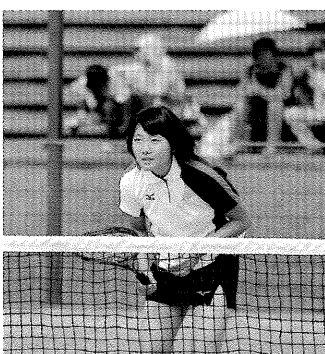
元村・本宮(葛巻)

橋(さ)・橋(実) 2-④

江刺家・小野寺(軽米)

橋(さ)・橋(実) 0-④

櫻庭・田村(福岡)



田中・岩本 ④-3

古館・田澤(軽米)

田中・岩本 1-④

阿部・上方(葛巻)

森・岩崎 0-④

久保・向川原(葛巻)

森・岩崎 3-④

常前・高屋敷(二戸)

※4組予選リーグ敗退

《団体戦》 フリー通過

リーグ戦

沼宮内 1-② 葛巻

沼宮内 ②-1 一戸

3位決定戦

沼宮内 ②-1 軽米

※順位3位で団体戦県大会出場

第63回岩手県高等学校新人大会

ソフトテニス競技

《団体戦》

1回戦

沼宮内 ②-1 一戸

2回戦

沼宮内 0-② 一関学院

卓球

平成30年度右手県ジュニア

卓球選手権大会

岩崎 開(1年)

1回戦 ③-0 佐々木雄斗(黒工)

2回戦 0-③ 高谷悠吾(花北)

第21回MJオープン卓球大会

《団体戦》(男子)

沼宮内 0-③ 轟松山三木(マギ)

沼宮内 1-③ 水沢商

沼宮内 0-③ 宮古工業

沼宮内 0-③ 花北青雲

平成30年度右手県高等学校

新人大会卓球競技二戸地区予選

《男子団体》地区3位

トーナメント戦

沼宮内 1-③ 葛巻

リーグ戦 沼宮内 ③-1 一戸

リーグ戦 沼宮内 ③-1 福岡

《男子ダブルス》

木戸口魁永(2年)、岩崎開(1年)

※2回戦進出



3回戦 0-③

須藤吉晴(岩手)

小森 玲(久慈)

将棋

第17回右手県高等学校文化

連盟将棋竜王戦

《男子個人戦》

B級 66名出場

山本颯馬(3年) 4勝1敗12位

C級 91名出場

三浦圭介(1年) 4勝1敗17位

第37回右手県高等学校文化

連盟将棋新人大会

《男子個人戦》C級 90名出場

堀 智博(1年) 4勝1敗13位

《女子個人戦》27名出場

名久井来海(1年) 3勝1敗7位

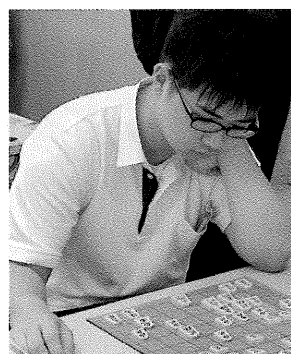
《男子団体戦》B級 50チーム出場

沼宮内B2チーム

(佐藤、太布、田茂内) 3勝1敗17位

×0-3 一関第一B1

○2-1 盛岡工業B2



第9回いっしょに読もう!

新聞コンクール

高等学校の部

岩手賞 松尾咲希(2年)

第25回岩手町福祉作文コンクール

高等学校の部

最優秀賞 今松 悠(2年)

高等学校の部

優秀賞 若子内 絃(2年)

平成31年右手町書初めコンクール

一般の部

入選 笹久保聖蓮(3年)

佳作 高橋惇平(2年)

渡 亮雅(3年)

千葉夏美(3年)

第1回岩手町お弁当レシピ

コンクール

高等学校の部

最優秀賞 橋 実保(1年)

優秀賞 小澤 憧(2年)

特別賞 井戸優空(1年)

特別賞 大欠歩香(2年)

特別賞 玉山美希(3年)

校内読書感想文

最優秀賞 大欠歩香(2年)

優秀賞 畑山知加(3年)

佳作 丹内綾夏(1年)

久畑瑠奈(3年)

松尾咲希(2年)

滝口凱斗(2年)

小澤 憧(2年)

玉木愛優菜(2年)

田中美来(1年)

松浦智香(1年)

その他の活動の記録

「小さな親切」運動

平成30年度第50回右手県

高等学校生徒会誌コンクール

佳作

佳作



美術

第41回右手県高等学校

総合文化祭 美術工芸展

大巻美涼(3年) 入選